

# 水取3・4丁目区 防災マップ

計画規模 土砂災害

## 立退き避難が必要となる家屋等の表示 (マーク)

- 計画規模の降雨で立退き避難が必要となる家屋
- 最大規模の降雨で立退き避難が必要となる家屋
- 土砂災害の危険時に立退き避難が必要となる家屋

計画規模の降雨とは、概ね30年から100年に1度程度の確率で発生する降雨により河川が氾濫した場合の、浸水域および浸水深を表しています。最大規模の降雨とは、概ね1000年に1度程度の降雨を想定しています。

## 凡例

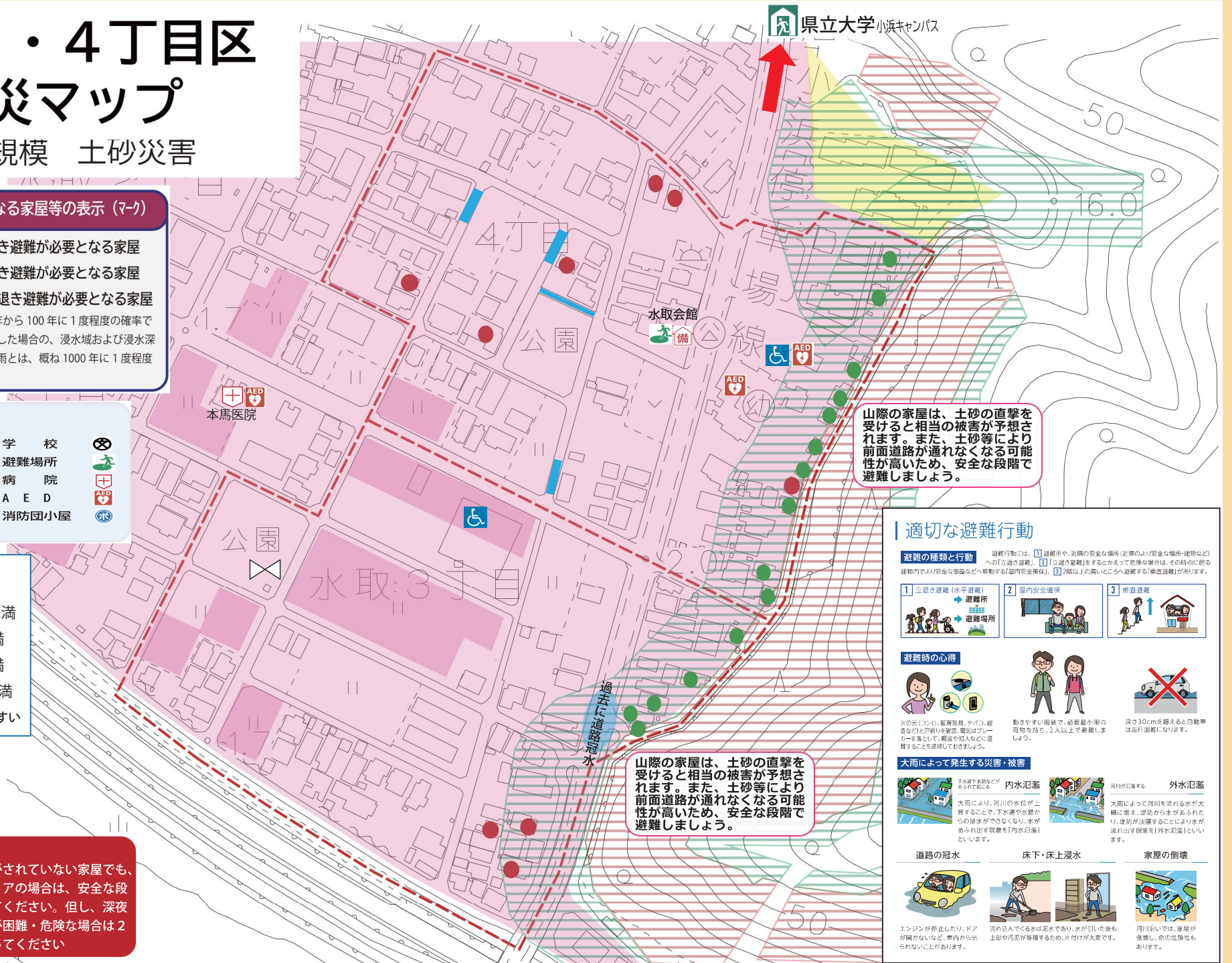
- |  |                |  |       |  |          |
|--|----------------|--|-------|--|----------|
|  | 土砂災害特別警戒区域     |  | 学 校   |  | 避難場所     |
|  | 土砂災害警戒区域       |  | 病 院   |  | A E D    |
|  | 過去に道路浸水が発生した場所 |  | 消防団小屋 |  | 防災(備蓄)倉庫 |
|  | 防災無線           |  | 消防団小屋 |  | 防災(備蓄)倉庫 |

## 洪水浸水想定区域

- 0.5m未満
- 0.5m～1m未満
- 1m～3m未満
- 3m～5m未満
- 5m～10m未満
- 道路に水が付きやすい

## 注意

立退き避難が必要な家屋表示がされていない家屋でも、浸水および土砂災害の被害エリアの場合は、安全な段階に指定の避難場所へ避難してください。但し、深夜や降雨等により避難することが困難・危険な場合は2階以上の安全な場所で身を守ってください



山際の家屋は、土砂の直撃を受けると相当の被害が予想されます。また、土砂等により前面道路が通れなくなる可能性が高いため、安全な段階で避難しましょう。

山際の家屋は、土砂の直撃を受けると相当の被害が予想されます。また、土砂等により前面道路が通れなくなる可能性が高いため、安全な段階で避難しましょう。

## 適切な避難行動

**避難の種類と行動** 避難行動には、①避難所や、近隣の安全な場所(近隣の安全な場所・建物など)への「立退き避難」、②「立退き避難」をすることができず危険な場合は、その時点に居る建物内でより安全な部屋などへ移動する(室内安全確保)、③2階以上の高いところへ避難する(垂直避難)があります。

- 1 立退き避難 (水平避難)**  
避難所へ避難する
- 2 室内安全確保**  
避難場所へ避難する
- 3 垂直避難**  
避難場所へ避難する

- 避難時の心得**
- 火の元(コンロ、暖房器具、タバコ、暖房など)戸締りを確認。電気はブレーカーを落として、避難や退避に必要とするものを消滅しておきましょう。
  - 動きやすい服装で、必要最小限の荷物を持ち、2人以上で避難しましょう。
  - 深さ30cmを超える自動車は走行困難になります。

- 大雨によって発生する災害・被害**
- 内水氾濫**  
大雨により、河川の水位が上昇することで、下水道や水廻りからの排水がでなくなり、水があふれ出す現象を「内水氾濫」といいます。
  - 外水氾濫**  
河川が氾濫する  
大雨によって河川を流れる水が大量に増え、堤防から水があふれ、崖崩が起きることにより水が流れ出す現象を「外水氾濫」といいます。

- 道路の冠水**  
エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出られないことがあります。
- 床下・床上浸水**  
流れ込んでくる水は排水であり、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。
- 家屋の倒壊**  
河川氾濫では、家屋が倒壊し、命の危険性もあります。